

本誌は、県民の皆様にも山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。



令和2年度 子どもの読書指導者養成講座開催（第1～3回）



◆赤羽茂乃氏◆

子ども読書支援センターでは、地域の核となって、子どもの本の専門的助言や技術的な指導を行う人材を育成するため、全4回の「子どもの読書指導者養成講座」を開講しています。

第1回は令和2年12月16日（水）に、「赤羽末吉の人生と絵本～『スーホの白い馬』『かさじぞう』を描いた絵本画家～」と題して、赤羽末吉研究家の赤羽茂乃氏にご講義いただきました。前半は人生と絵本についてお話しくささいました。後半は絵本『かさじぞう』について、課題レポートを元にした受講者の発表と解説がありました。扇面を使い、白い雪を墨で描いた工夫や、瀬田貞二の文章と赤羽末吉の絵のコラボレーションの見事さなど、詳しく解説いただき、絵を読み解く視点を深めることができました。

第2回は令和3年1月15日（金）に、「学校図書館の活性化をめざして～環境づくりと情報ファイルの作成～」と題して、全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザーの藤田利江氏にご講義いただきました。養成講座初のオンラインでの開催となり、ウェブ会議システム「Zoom」で、講師と会場とをつなぎました。第1部は学校図書館の機能や現状と課題についてのお話、第2部は書架・机のレイアウト変更方法、大根や黒電話など本物を使った展示の工夫など、実践に活かせるアドバイスがありました。第3部はワークショップとして、学習に役立つ新聞のファイルや地域の資料カードの作成を行いました。「子どもが先生が頑張れるように」「学ぶ環境を提供する」学校図書館として、発達段階と学習内容に応じた資料提供の工夫を学びました。



◆藤田利江氏◆



◆ワークショップの様子◆



◆細江幸世氏◆

第3回は令和3年2月24日（水）に、「多彩なテーマで幅広い読者をつなぐ絵本の魅力」と題して、編集者の細江幸世氏にご講義いただきました。約110冊の本を取り上げ、「ビジュアル図鑑」「文字なし絵本」「伝記絵本」「LGBT」「多文化共生」などテーマ別に、絵本の出版傾向や背景、作者や内容について、多角的な視点で詳しくご紹介いただきました。本選びの注意点や、様々な内容を受け止める一つの「器」として、絵本という形態があることを改めて認識した講座でした。

※第4回 翻訳家・菱木晃子氏の講座については、次号で報告予定です。

第2回 子どもの読書オープンカレッジを開催しました

令和2年12月3日（木）に、「即興物語作り『いちまいばなし』のはなし」と題して、アーティストで鑑賞プログラマーの佐藤悠氏を講師に迎え、講座を実施しました。小・中学校の学校司書、図書館職員その他、保育士、ボランティアの方、子どもの読書活動に関心のある一般の方、県庁職員など24名の参加がありました。



講師はこれまでに5百回以上、延べ2～3千人と一緒に物語を作ってきたそうです。今回の講座では、最初に受講者全員の参加で

◆即興で広がる物語の世界◆

「いちまいばなし」の実演が行われました。即興で物語を作るのは初めてという人ばかり、しかもほぼ初対面同士である受講者が、講師の巧みな話術に引き込まれるようにして、一つの物語を作り上げることができました。その後、実演を踏まえた受講者からの質問に答える形で、講義が進められました。講義の中では『いちまいばなし』を進める際のポイント解説とともに、『いちまいばなし』というパフォーマンスが誕生した経過や、この活動に込められた願いなどもお話しいただき、人とのかかわり方の大切さを改めて感じた講座となりました。

参加者からは、「初めての内容でとても楽しかった。子どもと一緒にやってみたい。」「後半の話術についての話も参考になった。『バラバラだけど、一つのことを成し遂げた感を味わってもらおう』という話に、なるほどと考え方が広がった。」などの感想が寄せられました。

※本年度講座は全3回の開催予定でしたが、感染症対策のため2回で終了しました。

「よちよち&とことこおはなし会」1年ぶりの再開

毎日開催していたおはなし会をコロナ禍により中止してから約1年。1月から部分再開しました。対象別（0～2歳、3歳～）に各月1回に変更し、開催時間を短縮しています。感染防止対策として、「検温」、三密を避けるための「各回3組事前申込制」と「座る位置の指定」を行っています。



◆よちよちおはなし会◆
0～2歳向け・1月19日



◆とことこおはなし会◆
3歳以上向け・1月30日

職員はマスクを着用して読み聞かせができるように練習を重ねました。また、わらべうたは顔や体などに接触しないものや、小物を共有しない歌にする、など試行錯誤しています。

令和2年度 子ども読書支援センター活動報告（2月末現在）

★職員対応見学：小学生・中学生・高校生の施設見学	4校	29名
★職員が対応しない自由見学	28団体	311名
★職場体験・インターンシップ受入：高校生	2校	2名
★講師派遣：読み聞かせ・ブックトーク研修会講師	2団体	48名

